

# 愛称通りを歩く④

## 越中島通り



▲商船大学正門

「まだ工事中ですが、一階に歯科と診療所がオープンします。」とはこの通りに本社ビルを構えるスポーツニッポン新聞社。ロビーには、彫刻家で三商高で教鞭をとられた横山文夫さんの作品「朝のひととき」が飾られています。

東京商船大学は明治8年に三菱

夏は夕暮れは越中島公園がおすす。真っ赤な太陽が高層ビルの谷間に沈み、納涼の屋形船が隅田川を行き交う光景が心に残ります。

越中島は隅田川河口にできた浮洲のひとつで、榎原越中守の別邸があったことから町名がつけられました。

JR京葉線越中島駅がある越中

島通りは清澄通りから塩浜一丁目浜園橋までの約1キロ。東京商船大学をはじめ都立三商高、区立越中島小、深川三中が通りに面しています。また、ケヤキの街路樹が芽吹く頃は、若葉の並木道が一際美しい通りで別名「商船大通り」とも呼ばれていました。

商船学校として創立。以来、多くの海の男たちが巣立っていきましたが、時代と共に女子学生も入学するようになりました。校内には日本最古の帆船「明治丸」が保存され、船内の見学もできます。



▲けやき並木が続く越中島通り